

- 1 会議名 総務・産業建設常任委員会協議会
- 2 日時 令和4年7月20日（水）
午前10時29分から午前11時9分まで
- 3 場所 第2・第3委員会室
- 4 出席委員 （委員長）井上真砂美 （副委員長）大野慎治
（委員）梅村均、鬼頭博和、水野忠三、黒川武、榎谷規子
- 5 事務局出席 議会事務局長 丹羽至、同統括主査 寺澤顕
- 6 委員長挨拶
- 7 協議事項

（1）令和3年度の課題について

- ①食品ロス削減の推進について
- ②ブランド野菜研究事業の推進について
- ③五条川健幸ロードの除草対策について

井上委員長：除草対策は困難という意見も出ていたので、食品ロス削減の推進及びブランド野菜研究事業を引き続き取り上げていってはどうかと考える。

（2）行政調査について

井上委員長：徳島県上勝町の葉っぱビジネスが、ブランド野菜研究事業に繋がるのではないかと考える。上勝町はゼロ・ウェイスト宣言をして、世界から注目されている。視察したいがどうか。

大野副委員長：上勝町は良いところではあるが移動時間を考えると常任委員会として行政視察に行くのは難しいか。

梅村委員：葉っぱビジネスは高齢者の生きがいを目的としているので、場合によっては厚生・文教常任委員会の所管事項となるのでは。またオンラインでの調査も視野に入れてはどうか。

鬼頭委員：食品ロス削減の取組であるが、兵庫県姫路市の取組として、売れ残りの食品を安く提供するアプリのサービスがある。色々な市町で取組がされていて、愛知県では安城市が同じアプリを使っている。視察先としてどうか。

井上委員長：梅村委員からオンラインの意見があったが、コロナの感染状況により視察に行くのは難しいか。

黒川委員：感染状況にも配慮しなくてはならないが、まずは何をテーマにするか。昨年ブランド野菜研究事業の推進ということでやってきて、引き続きこういった切り口で調査研究できないか。今、伝統野菜が注目を集めつつある。岩倉市

の野菜栽培の歴史を振り返り、この点をテーマにしてはいかがかと思う。もうひとつは、新聞報道で知ったが、知多市でペコロスが栽培されていて特産となっているが、栽培農家が減少している。岩倉の風土に合えば、試験的に導入し栽培したらどうか。遠方の視察もいいが、身近な所で出来ることもあるのでは。大野副委員長：ブランド野菜については、栽培している農家さんと意見交換して、どういったことを考えているのか我々が勉強すべき。こちらから一方的に提案するのではなく、意見交換できる場があるといい。

井上委員長：今までの意見をまとめると、伝統野菜や新しい野菜など、ブランド野菜研究事業の推進について、農業委員会含めて意見交換しながら勉強する。テーマとしては、ブランド野菜研究事業を進めていきたいということであるが、いかがか。

梅村委員：いいと思う。ブランド野菜については去年取り上げているので、その中で気になることを取り出して研究したり、提案したりできればいい。予算が少なすぎるのではないかと意見もあったので、農業関係者に実際にそれについて聞いてみたい。

井上委員長：今配付した資料は、伝統野菜とペコロスについての新聞記事である。色々な意見が出たので、意見交換することは可能と思われる。上勝町は遠いという意見もあったが、コロナ禍で高齢者が家にこもりがちになっているため、何か産業というか、外に出るきっかけを作れたらと思い、少人数なので遠くても可能かと考えた。上勝町だけでなく、途中で別の市町も視察できればと。

大野副委員長：オンラインが可能ならば現地赶赴せずとも視察はできる。移動で一日かかるのはどうなのか。

井上委員長：ゼロ・ウェイスト宣言の関係で、海外からも視察が来ているようだ。

大野副委員長：おそらく皆さん空港から車で行くような場所。我々は公共交通機関を利用する。

梅村委員：実際にどれくらいの時間がかかるのか、プランを組んでみた方が良い。副委員長が調べて難しいと言うなら、上勝町は外して、別の場所に。

井上委員長：鬼頭委員から姫路市の意見が出たので、次回、資料をいただきたい。

大野副委員長：現在のコロナの状況を考えると、東海圏がいいのでは。黒川委員の意見にあった近隣への日帰り視察も、受け入れてもらえれば可能かと考える。

水野委員：令和3年度の課題に限るのか。そうでなければ、7月22日に金融機関関連をやるということで、その時の議論にもよるが、行政調査ということで金融機関の本店、もしくは法人担当部署に伺うというのはどうか。他の視察の組み合わせとして。

黒川委員：県内であれば知多市、もう一つは鬼頭委員の言われた安城市というのはどうか。

井上委員長：ブランド野菜研究関連で近場の候補地が出てきた。組み合わせてメガバンク関係。

梅村委員：視察先は、期限を区切って募集したが意見は出てこなかった。本日複数の意見は出たので、それを取り入れながら、視察先のプランを正副委員長に一任しても良いのでは。

井上委員長：視察は10月の第1週で、近隣が良いという意見があった。現在出ているテーマにこだわらず、案があれば次回まで、早急に出してほしい。

水野委員：単一のテーマだけでなく、一日に何ヶ所か回ると思うので、大まかな行き先を決めてもらいたい。

梅村委員：逆にここは駄目というのがあれば、案を作りやすい。

水野委員：移動だけで1日つぶれるのはどうかと思うが、それ以外はお任せする。

井上委員長：梶谷委員は何か意見はあるか。

梶谷委員：特になし。

井上委員長：農業委員会との意見交換会を視察の前に行ったほうが良いか。後で良いか。視察に行く前に自分で調べて、農業委員会に新しいものへの挑戦等、意見交換することでもいいのか。

黒川委員：農協の担当者に事前に相談して、意見を聞いたほうがいい。

梶谷委員：ちっちゃい菜の生産者グループとの懇談がいいか、農協がいいか、農業委員会がいいか、検討すべき。

井上委員長：調べてから相手方と話し合いたい。

大野副委員長：例えば、近隣で関市のように、ふるさと納税の成功自治体の話を聞くのはどうか。福井県の敦賀市も多いと聞く。

水野委員：ふるさと納税で国と裁判になった自治体はどうか。

井上委員長：ふるさと納税に関わる取組の提案があった。

梅村委員：テーマに特に異論はない。

水野委員：他の視察先の組み合わせとして可能であれば、自治体と関係のある範囲内で、金融機関に教えていただく場があるといい。

黒川委員：皆さん知識があまりないことなので、22日に会計課から話を聞いて、その上での話。

井上委員長：正副委員長で今日の議論をまとめる。

(3) その他

井上委員長：22日の協議会での質問事項は所管課へ送付してある。